

令和4年度 第6回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和4年9月7日(水) 13:30~15:10

2 場 所 大学本館2号館 多目的ホール

3 出席者(16名)

学内: 藤野(昭)、中山、齋藤、長田、足立、矢寺、立石(和)、庄司、大松、東、藤野(善)、榎本

学外: 櫻井、安元、田中、玉城

欠席者(0名)

4 報告事項等

(1) 令和4年度第5回迅速審査小委員会について

齋藤委員長から、4件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした。その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(2) 2022年度「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理講習会」の開催について

事務局から、10月21日(金)及び24日(月)にラマツィーニホールにて開催予定であり、後日DVD講習の開催も予定しているとの報告があった。

(3) 令和4年度第3回産業医科大学倫理委員会 継続審査について

事務局から、令和4年度第3回本委員会において継続審査と判定された次の研究について、申請者から次の都合により取り下げたいとの連絡があったことの報告があった。

研究責任者: 産業保健学部 基礎看護学 講師 仲前 美由紀

研究課題名: 高齢者の脱水症の早期発見のための灌流指標に関する妥当性の検証

理 由: 多機関で審査することになったため。

5 審議事項等

(1) 令和4年度第5回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請(迅速審査)

① 研究責任者: 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子

研究課題名: 就労者の働くことのモチベーションとストレスマインドセットに関する研究

審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

② 研究責任者: 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 原 邦夫

研究課題名: 経験の浅い学生への危険予知訓練による危険予知能力と危険予知に関する自己評価の変化

審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

- ③ 研究責任者: 産業保健学部 基礎看護学 講師 小山 理英
研究課題名: Post-Coronavirus Disease-2019における看護学生のストレス要因の検討
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

- ④ 研究責任者: 産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 長 聡子
研究課題名: 特別養護老人ホーム入居者の看取りにつながる体調変化の兆候に関する調査
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

(2) 新規申請

- ① 研究責任者: 産業医実務研修センター 准教授 喜多村 絃子
研究課題名: 電動ファン付きマスクのファン稼働設定値がマスク内環境へ与える影響の検討
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 等

使用する市販の呼吸用保護具のメーカー名や製品名を明示する。「参加される方への説明文書 5. 研究の方法について」においても同様。

5. 研究対象者の選定方針 2) 研究対象者の目標人数

研究対象者の目標人数「10～12人」と「約12名」と改める。「参加される方への説明文書 5. 研究の方法について」においても同様。

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

「最大酸素摂取量測定に基づく運動負荷を体験し…今後の自身の健康増進に役立ててもらえることができる」とあるが、最大酸素摂取量を知ることでのどのように健康増進に役立てることができるのか、研究対象者にもわかりやすいように補足する。

「参加される方への説明文書 7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスクについて」においても同様。

参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

「4. 1) b) (6)」にある実験スケジュールのイメージ図を簡略化したものを表示する。また、19行目に「電動ファン付きマスク(B)を外して…」とあるが、「電動ファン付きマスク(C)を外して…」と改める。

- ② 研究責任者: 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 山田 晋平
研究課題名: ヘルムホルツ・コールラウシュ効果を考慮した背景色と呈示色の組み合わせの違いが疲労に与える影響
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法

説明文章とイメージ図の内容が一致していないため、整合させる。「参加される方への説明文書 5. 研究の方法について」においても同様。また、RGB 値を示す。

19. 研究対象者の経済的負担及び対象者への謝礼の有無とその内容

「1回あたり 4,000 円分 (4つ条件すべてに参加した場合 8,000 円) …」とあるが、「4.1」 b) 研究の具体的方法」には「3回目の作業の…」や「以下の 4通り…」、「一度の実験では 2種類の配色に留めて…」とあり、単位が入り混じっていてわかりづらいため、調整する。「参加される方への説明文書 17. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応について」においても同様。

参加される方への説明文書

16. 研究対象者及びその関係者からの相談等への対応について

記載内容を、対象者あての表現に改める。また、説明文書中で「本研究」と「この研究」という表現が入り混じっているため、統一する。

主観的な作業負担・負担の質問紙

作業達成度の説明文にある「あなた自信」を「あなた自身」に改める。

- ③ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 山田 晋平
研究課題名： 深呼吸と足浴の組み合わせによる自律神経活動への影響
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施計画 1) 方法 b) 研究の具体的方法

文末にある「事前に約 10 分の練習を行う」について、そのタイミングを明示する。「参加される方への説明文書 5. 研究の方法について」においても同様。

7. 実施事項等における倫理的配慮 2) 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障「(代諾者含む)」を削除する。

10. 研究対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い

文末にある「や生体試料」を削除する。

19. 研究対象者の経済的負担及び対象者への謝礼の有無とその内容

「…後日に提供する。」の「に」を削除する。

参加される方への説明文書

16. 研究対象者及びその関係者からの相談等への対応について

記載内容を、対象者あての表現に改める。また、説明文書中で「本研究」と「この研究」という表現が入り混じっているため、統一する。

主観的な作業負担・負担の質問紙

作業達成度の説明文にある「あなた自信」を「あなた自身」に改める。

- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明
研究課題名： 暑熱環境下における着ぐるみ着用時の身体的影響と内部環境変化

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加される方への説明文書

6. 研究対象者の候補として選ばれた理由について
対象者の目標人数が約5名であることを記載する。

- ⑤ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名： 治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

初回の調査票

- ・ Q7 の選択肢「高校中退・卒業」の「高校中退」は、「中学校卒業」と同意であるため修正する。
- ・ Q9 以降、質問番号がずれているため調整する。
- ・ Q11 のいくつかの項目で「～の低下」という項目と「～機能」という項目とがあり統一がないため、調整する。
- ・ Q19 の選択肢「パート」と「アルバイト」について、「雇用形態」としては同じものであるため、まとめる。
- ・ Q20 の選択肢の誤字を修正する。
- ・ Q21 の選択肢「漁業」について、水産加工業も含む「水産業」と改める。
- ・ Q22 等、複数選んでもよい設問であれば、「複数選択可」等、表示する。
- ・ Q26, 2. 及び 3. に脱字があるため修正する。
- ・ Q27, 2 及び 3 の脱字を修正する。
- ・ Q27, 10 の表中にある数字を不要であれば削除する。また同項目 18 の選択肢に「相談できる人はいるが、まだ相談していない」も追加する。

2 回目の調査時の案内文

6. 研究の方法

末文にアンケートの所要時間は約 20 分とあるが、2 回目調査時の質問数は 4 問のみのため、改める。

2 回目の調査票

- ・ Q3 の誤字を修正する。
- ・ Q4 の「支援が必要と回答した疾患について…」という表現について、「支援が必要と回答した疾患の治療や管理のために…」と改める。

- ⑥ 研究責任者： 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 助教 五十嵐 侑
研究課題名： 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を有する労働者の就労支援に関する調査

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施概要 1) 研究の背景
「COVID-19に診断…」を「COVID-19の診断…」と改める。
5. 研究対象者の選定方針 2) 研究対象者の目標人数
「20-30人程度から30~100事例…」という表現がわかりにくいいため、「協力いただいた産業医20-30人程度から30~100事例…」と補足する。
10. 研究対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
収集データの保管場所「両研究室」を改める。また、保管に関する記述を前項目へ移す。
12. 研究費の資金源と利益相反
「学内研究費」を具体的に記載する。

参加される方への説明文書

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて
「インタビュー調査については、同意された後でも同意を撤回することができます」とあるが、「文字起こしをするまで」等の補足を加える。
13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法について
「生体試料及び」を削除する。
24. 知的財産権の発生について
「及び東京大学」を削除する。

- ⑦ 研究責任者： 医学部 両立支援科学 助教 原田 有理沙
 研究課題名： 治療と仕事の両立支援における患者の仕事映像コンテンツ開発と有用性評価
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

10. 研究対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
完成、公開した映像コンテンツは研究期間を超えても残す旨を追記する。説明文書についても同様。

参加依頼文書

- ・参加企業に「医療職に患者の就業状況が把握でき、両立支援の実行を高められるようなツールを作成する」という研究趣旨がより伝わりやすい内容に改める。

参加される方への説明文書（映像コンテンツ作成者向け）

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて
「回答を送信後は回答者を特定できないため、回答の撤回はできません。」とあるが、静止画または動画ファイルを提供してもらう場合の撤回時の内容に改める。
13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法について
「…いただいた回答は…」を「…いただいた静止画あるいは動画ファイルは…」と改める。

(3) 新規申請 (中央一括審査)

- ① 研究責任者: IR 推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名: 職場の心理社会的な安全風土と労働者の健康に関する縦断研究
研究代表機関: 産業医科大学
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

研究実施計画書

10. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

質問票への回答所要時間「約 30 分」を「約 1 時間」と改める。「倫理審査研究計画書 4. 1) b) 研究の具体的方法 及び 9. 2) 研究対象者の負担及び予測されるリスク」、「初回調査時に送付する案内文【研究の方法】」、「1 年後の調査時に送付する案内文【研究へのご参加の御礼と再回答のお願い】」についても同様。

倫理審査研究計画書

19. 研究対象者の経済的負担及び対象者への謝礼の有無とその内容

「…対象者に対して」を「…回答者に対して」と改める。

(4) 変更申請

- ① 研究責任者: 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名: 加熱式タバコを含むタバコの使用実態と認識に関する WEB 調査
審査要旨: 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮

委託業者について「インターネット調査会社」と記載されているが、計画書各項目で委託業者を示す表現が統一されていないため、調整する。また委託業者について、企業概要を明記する。

アンケート

- ・同意しない場合のチェック項目を追加する。

- ② 研究責任者: 医学部 救急医学 教授 蒲池 正幸
研究課題名: オンライン実習でも対応できる魅力ある教育用カルテシステムの開発
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者: 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 児玉 豊彦
研究課題名: 新型コロナウイルス感染症流行下における児童発達支援および放課後等デイサービスを利用している児童の精神状態の変化に対するアンケート調査
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者: 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明
研究課題名: インターネット調査による労働者を対象とした産業保健課題(産業保健体

制、両立支援、職場の感染症対策)に関するコホート調査
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

- ⑤ 研究責任者: 産業生態科学研究所 健康開発科学 教授 大和 浩
研究課題名: 有酸素運動、筋力トレーニングによる健康の保持・増進効果の検証ならびに健康の保持・増進に必要な運動量の探索
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 研究責任者: 産業医実務研修センター 助教 田口 要人
研究課題名: 職場で上司と部下が定期的に行う1対1ミーティング(1on1)の効果に関する研究
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 研究責任者: 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名: 疲労度の測定および生活習慣改善アドバイスが疲労改善と仕事上のミス削減に与える効果検証: 無作為化比較対照試験
審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

(1) 研究終了報告 124 件、中止報告 1 件が承認された。

< 終了報告 >

- H23-11 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名: 市町村日常生活圏域ニーズ調査およびコホート調査
- H24-086 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名: 現役勤労世代から退職後までを含む長期健康状態に関する追跡調査研究
- H24-087 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名: 企業及びその健康保険組合が保有する医療情報を統合する取り組み
- H24-195 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名: 睡眠障害と疾病リスクの関連に関する産業疫学研究
- H24-196 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名: 転倒リスク評価に関する産業疫学研究
- H25-142 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名: DPC データ基盤を活用した ICU 診療実態調査
- H26-089 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名: 疾病と就業に関する外来調査
- H26-196 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉

研究課題名：医療機関の病床区分や人員配置等に関する研究

- H26-197 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：在宅医療の必要量推計の方法論開発を中心とした医療計画の有効性を高めるためのデータ等の新たな活用方法及び見直しに関する研究
- H26-198 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：DPC（診断群分類）に係るデータの利活用に向けたサンプリングデータセットの整備に関する研究
- H26-199 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究
- H26-233 研究責任者：医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名：主治医と産業医の連携効果に関する実態調査
- H26-234 研究責任者：医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名：休職期間と医療費等の関連に関する調査
- H27-006 研究責任者：医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名：RCTによる主治医が実施する就業支援指導・および就業措置情報提供書による就業継続の効果の検証
- H27-012 研究責任者：医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦
研究課題名：勤務医の健康管理に関するアンケート調査
- H27-220 研究責任者：医学部 公衆衛生学 助教 村松 圭司
研究課題名：休職経験労働者を対象とする主治医による継続的診療と再休職リスクのレセプトデータを用いた検証
- H27-241 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：地域横断的な医療介護情報の ICT 化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究 -DPC・NDB データを活用した、臨床研究のための評価を行う指標の整理事業-
- H28-083 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：介護保険サービスの質の評価に資する利用者の状態把握に関する調査研究
- H28-084 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：慢性期医療における DPC 分類の活用に関する研究
- H28-159 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：医療機関の病床区分や人員配置等に関する研究

- H29-084 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：レセプト等の大規模電子診療情報を活用した薬剤疫学研究を含む医療パフォーマンス評価に関する研究
分担課題名：NDB を用いた薬剤副作用スクリーニングシステムの開発
- H29-085 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：地域包括ケア体制実現のための医療・介護レセプトを連結した情報基盤の作成とその活用に関する研究
- H29-086 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：診断群分類を用いた病院機能評価手法とデータベース利活用手法の開発に関する研究
- H29-087 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：かかりつけ医の普及に向けた患者の医療機関選択や受療状況把握に関する研究
- H29-116 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：胆嚢癌患者の術前 BMI と予後の検討
- H29-117 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：久留米市における在宅医療介護連携推進に係る分析研究
- H29-118 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：重症肝損傷の治療方法と転帰
- H29-259 研究責任者：医学部 公衆衛生学 助教 富岡 慎一
研究課題名：在宅医療による医療介護費用の抑制効果の検証に関する研究
- H30-026 研究責任者：医学部 公衆衛生学 准教授 久保 達彦
研究課題名：熊本地震の災害医療対応を通じて蓄積された J-SPEED 活動日誌データの解析研究
- H30-054 研究責任者：医学部 公衆衛生学 准教授 久保 達彦
研究課題名：救急隊員の労働負荷対策における疲労度に関する研究
- H30-066 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：新規申請時に状態不安定を理由に要介護認定となった者に対するケアマネジメントが以降の要介護状態の変化に与える影響に関する研究
- H30-193 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：レセプトデータ及び日常生活圏域ニーズ調査データ等を活用した地域課題が介護予防の効果に与える影響に関する調査研究事業

- H30-194 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：在宅医療・介護連携の質の評価のための研究
- H30-195 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：急性期の入院患者に対する医療・看護の必要性和職員配置等の指標の開発に係る研究
- H30-196 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：在宅・介護施設等における慢性期の医療ニーズの評価指標等を作成するための研究
- R1-005 研究責任者：医学部 公衆衛生学 助教 劉 寧
研究課題名：在日外国人の健康状態に関する一考察
- R1-013 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：入院患者に対する医療・看護の必要性和職員配置等の指標の開発に係る研究
- R1-048 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：医療機関の病棟単位での医療機能分析及び適正な人員配置のための研究
- R1-049 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：ビッグデータを用いた高齢者の死に至る経時的变化の類型化に関する研究
- R1-067 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：診断群分類を用いた急性期等の入院医療の評価とデータベース活用に関する研究
- R2-046 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：DPC データによる我が国の自殺の現状に関する研究
- R2-048 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：高齢者の生活状況に関する調査研究事業
- R3-032 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：地域における医療機関相互の連携に資する研究
- R3-060 研究責任者：医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
研究課題名：DPC データによる我が国の自殺の現状に関する研究
- セ 08-06 研究責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児
研究課題名：うつ病に関する脳画像・分子薬理研究：うつ病の発症過程と脳画像、遺伝子、血液マーカーとの関連

- H25-093 研究責任者：産業医科大学病院 医療情報部 部長 林田 賢史
研究課題名：EPA(経済連携協定)に基づく外国人看護師受け入れに対する患者の心情に関する研究
- R3-025 研究責任者：産業医科大学病院 緩和ケアセンター
ジェネラルマネージャー/看護師長 安高 久美子
研究課題名：大学病院における看取りに関わる看護師に必要な教育的課題の抽出
- R3-048 研究責任者：産業医科大学病院 緩和ケアセンター
ジェネラルマネージャー/看護師長 安高 久美子
研究課題名：産業医科大学病院における看護師の看取りに関する困難感の要因分析と教育計画の検討
- H23-64 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷 淳子
研究課題名：禁煙指導の効果的なタイミングと禁煙方法に関する調査
- H25-080 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：禁煙による免疫機能、全身炎症、血液凝固系の機能変化の観察に関する研究
- H25-120 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：仕事のストレス要因と生活習慣、生理指標との関連：縦断データによる検討
- H25-145 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 講師 高波 利恵
研究課題名：サービス産業 A 社における従業員の健康と企業経営の関連
- H26-029 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：仕事のストレス要因と生活習慣、職場の怪我とうつ病の関連
- H27-119 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 講師 高波 利恵
研究課題名：職場の心理的環境改善のプロセスと関連要因
- H28-044 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 准教授 中谷 淳子
研究課題名：看護学科 4 年生を対象とした「集団教育の方法」に関する授業改善研究
- H28-170 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：睡眠問題を訴える労働者における寝具の改善効果
- H29-137 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：従業員の健康改善に関する介入研究の生理学的検討
- H29-201 研究責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
研究課題名：被服作業労働者の仕事のストレスと爪内のコルチゾールの関連

- H25-042 研究責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 樋上 光雄
研究課題名：着用後の防じんマスク面体の細菌汚染状況の把握とその除菌方法の検討
- H25-064 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 学内講師 川波 祥子
研究課題名：大企業の健康診断及びストレスチェックと在職死亡者に関する継続調査
- H25-144 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知
研究課題名：医学生の産業医志向に関する調査
- H26-079 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知
研究課題名：労働現場での外耳道温測定による熱中症のリスク評価
- H26-181 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 学内講師 川波 祥子
研究課題名：暑熱環境下での運動負荷による日本人成人男性とマネキンとの核心温変化の比較
- R2-036 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知
研究課題名：熱中症による不労災害等の発生頻度と特徴に関する研究
- R2-037 研究責任者：産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江 正知
研究課題名：建設現場における新型コロナウイルス対策用プロテクタの使用に関する調査研究
- H23-164 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 講師 真船 浩介
研究課題名：情報通信技術者を対象とした職業性ストレスの評価とその特徴に応じた実効的な職場環境改善の検討
- H26-215 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：企業における主治医と産業医等の連携についての課題に関する研究
- H27-041 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 講師 真船 浩介
研究課題名：組織改善の推進を目的としたメンタルヘルス風土尺度の開発
- H27-042 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 講師 真船 浩介
研究課題名：組織資源と職業性ストレス及び精神的健康との関連の検討に関する研究
- H28-100 研究責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：インターネットを用いたストレスチェック制度における面接指導の進め方に関する調査研究
- H23-46 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：職場不適応をきたしている自閉症スペクトラムの労働者への対応と適切な支援方法に関する研究

- H23-93 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：がん患者の就業支援における産業医活動の意識・実態調査
- H24-081 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：職場不適応をきたしている自閉症スペクトラムの労働者への対応と適切な支援方法の原案の作成
- H24-182 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 岡原 伸太郎
研究課題名：大規模災害における従業員の健康を守るための対応に関する調査
- H25-044 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：自治体が行う保健事業の外部委託に関する良好な実践事例の調査
- H25-046 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：産業医教育における適正な教育時間の提供に関する調査研究
- H25-098 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 立石 清一郎
研究課題名：企業における危機事態に伴い発生した産業保健ニーズに対応するための産業保健専門職向けのマニュアルの開発
- H25-116 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：自閉症スペクトラム障害を有する労働者に対して効果的な支援を行うための産業保健スタッフと地域障害者職業センターの連携方法の検討
- H25-146 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 岡原 伸太郎
研究課題名：高等教育機関において実施される安全教育に関するインタビュー調査
- H25-147 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 岡原 伸太郎
研究課題名：新しい特殊健康診断の実施方法 -特殊健康診断における「作業条件の簡易な調査」の標準的な調査方法と活用方法の確立に関する調査研究
- H25-164 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 岡原 伸太郎
研究課題名：産業医実務において必要とされる労働安全の知識や経験に関するアンケート調査
- H25-166 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：企業における「がん患者」の就業支援に関する意識及び実態調査 -人事担当者向けアンケート-
- H25-194 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：自閉症スペクトラム障害を有する労働者への支援方法の実行可能性の検証

- H25-212 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：産業医の災害時の対応に関するアンケート調査
- H26-091 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：衛生委員会での産業医の貢献に関する検討
- H26-139 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：管理職に対する教育プログラムの効果検証のためのクラスター
ランダム化比較試験
- H26-217 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：事業場において就労支援を行う上で必要な治療状況等の情報、お
よび就業配慮を行う上で阻害する要因に関するインタビュー調査
- H27-026 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：高齢農作業従事者における職務適性の評価方法の開発
- H27-070 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：一般定期健康診断の有用性に関するインタビュー調査
- H27-133 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：人事・労務担当者によるがん等の患者の就業支援に関する調査
- H27-197 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：治療と就業の両立支援に関する意識調査
- H27-232 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：一般健康診断の項目の優先度に関する産業医のコンセンサス調査
- H28-034 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：患者を中心とした職場と医療の情報共有支援ツールの妥当性の検討
- H28-035 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：有効視野(UFOV®)を用いた、農村における災害とUFOV®スコア
の関連に関する評価
- H28-169 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
研究課題名：事例性に応じた就業配慮検討ツールの開発と有効性評価
- H28-210 研究責任者：産業医実務研修センター 講師 立石 清一郎
研究課題名：身体疾患を有する労働者が円滑に復職できることを目的とした、
科学的根拠に基づいた復職ガイドランスの策定に関する研究
- H29-119 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：一般健康診断における有所見のあり方、特定業務従事者健康診断

の実施状況及び既往歴の情報収集に関する現状調査

- H29-175 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：産業精神保健分野において社会保険労務士が持つべき能力の同定調査
- H29-287 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：産業精神保健分野において社会保険労務士が持つべき能力の同定調査（2回目）
- H30-051 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：一般健康診断における有所見、特定業務従事者健康診断および既往歴に関する実地調査
- H30-110 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：産業医の適切な勧告権行使に資するシナリオ集の作成
- H30-121 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：労働者の健康施策による事業成果への寄与に関するインタビュー調査
- H30-140 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：治療と職業生活の両立支援分野において社会保険労務士が持つべき能力の同定調査
- R1-019 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 伊藤 直人
研究課題名：特定業務従事者健康診断のあり方に関するアンケート調査
- R1-033 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：アクションチェックリストを活用した医療機関における就労支援推進教育の実施評価
- R1-077 研究責任者：産業医実務研修センター 副センター長・准教授 川波 祥子
研究課題名：医療職者におけるキャリア継続のための職場環境に関する調査～10年の変遷を経て～
- R2-030 研究責任者：産業医実務研修センター 准教授 柴田 喜幸
研究課題名：治療と仕事の両立支援分野において社会保険労務士が持つことが期待される能力の同定調査（アンケート調査）
- R2-088 研究責任者：産業医実務研修センター 助教 田口 要人
研究課題名：職場で上司と部下が定期的に行う1対1ミーティング（1on1）の効果に関する研究
- H27-194 研究責任者：若松病院 循環器内科腎臓内科 准教授 春木 伸彦
研究課題名：睡眠時無呼吸患者での低酸素と酸化ストレスの関係に関する研究

- H27-195 研究責任者：若松病院 循環器内科腎臓内科 准教授 春木 伸彦
研究課題名：慢性心不全患者における睡眠呼吸障害と心臓形態・機能に関する研究
- H27-217 研究責任者：若松病院 循環器内科腎臓内科 准教授 春木 伸彦
研究課題名：心不全増悪からの回復過程における呼吸安定性評価の有用性を検討する多施設共同臨床研究
- H27-065 研究責任者：若松病院 消化器・一般外科 准教授 中山 善文
研究課題名：大腸癌における MCT4 (Monocarboxylate transporter 4) 関連蛋白質発現の予後因子としての意義
- H27-066 研究責任者：若松病院 消化器・一般外科 准教授 中山 善文
研究課題名：大腸癌における mtTFA (Mitochondrial transcription factor A) 関連蛋白質発現の意義
- H23-167 研究責任者：若松病院 看護部 看護師 入江 めぐみ
研究課題名：糖尿病患者の歯周病罹患状況と歯の健康に関する現状調査
- H26-008 研究責任者：若松病院 看護部 看護師 佐藤 希
研究課題名：前十字靭帯損傷術後に行う効果的なクライオセラピーの検証
- H26-132 研究責任者：若松病院 看護部 看護師長 平澤 和子
研究課題名：外来通院中の COPD 患者における吸入療法の実態調査
- H28-230 研究責任者：若松病院 看護部 看護師長 伊藤 博子
研究課題名：内科混合病棟における業務繁忙の要因分析 –ヒューマンエラーによるインシデントの削減を目指して–
- H23-79 研究責任者：若松病院 呼吸器内科 助教 生越 貴明
研究課題名：Castleman 病と IgG4 関連肺疾患の関連性の検討
- H28-065 研究責任者：若松病院 呼吸器内科 助教 島袋 活子
研究課題名：非小細胞肺癌患者におけるアブラキサン®の使用に関する後ろ向き調査
- H28-069 研究責任者：若松病院 呼吸器内科 診療教授 吉井 千春
研究課題名：腱板断裂患者における喫煙状況と肺機能の検討
- H28-172 研究責任者：若松病院 産婦人科 診療教授 吉村 和晃
研究課題名：腹腔鏡下手術における術前超音波検査の有用性
- H28-173 研究責任者：若松病院 産婦人科 診療教授 吉村 和晃
研究課題名：子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨子宮靭帯固定術の有用性

H29-124 研究責任者：若松病院 産婦人科 診療教授 吉村 和晃
研究課題名：骨盤臓器脱手術における術前後の排尿機能の変化

H29-208 研究責任者：若松病院 産婦人科 助教 茗荷 舞
研究課題名：骨盤臓器脱手術の医療経済学的検討

<中止報告>

R3-013 研究責任者：医学部 救急医学 教授 蒲地 正幸
研究課題名：オンライン実習でも対応できる魅力ある教育用カルテシステムの
開発